

2023 年度 一般入学試験 前期日程（2月2日）

地理歴史・公民・理科

〔世界史 B, 日本史 B, 政治・経済〕
〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

（試験時間 60分）

この問題冊子には、「世界史 B」「日本史 B」「政治・経済」の3科目及び「理科（物理基礎・化学基礎・生物基礎）」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、129ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史 B	4 ~ 31	左の3科目のうち1科目を選択して解答する。
	日本史 B	32 ~ 59	
	政治・経済	60 ~ 85	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	87 ~ 129	試験時間内に左の3科目のうち2科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙1枚で2科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間(60分)の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史 B

(解答番号 ~)

第1問 次の史料A・文章Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 開皇二十(600)年、倭王あり、姓は阿每、字は多利思比孤、阿輩雞弥と号す。

使を遣して關(注1)に詣る。(中略)

①大業三(607)年、其の王多利思比孤、使(注2)を遣して朝貢す。使者曰く、「聞
くならず、海西の菩薩天子(注3)、重ねて仏法を興すと。故、遣して朝拜せしめ、
兼ねて沙門(注4)数十人、来りて仏法を学ぶ」と。其の国書に曰く「日出づる処の
天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや、云々」と。帝(注5)、之を覽て
悦ばず、鴻臚卿(注6)に謂ひて曰く、「蛮夷の書、無礼なる有らば、復た以て聞
する勿れ」と。②明年(608年)、上、文林郎裴清を遣して倭国に使せしむ。

(『隋書』倭国伝)

(注1) 關：宮廷。

(注2) 使：小野妹子。

(注3) 海西の菩薩天子：煬帝。

(注4) 沙門：僧侶。

(注5) 帝：煬帝。

(注6) 鴻臚卿：外交担当の事務官。

問1 史料Aの内容に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 600年に、倭王が使者を隋に遣わしていたことがわかる。
- ② 607年に、遣隋使の小野妹子が国書を持参して派遣されたことがわかる。
- ③ 倭からの国書は、隋の皇帝に臣属する内容でなかったことがわかる。
- ④ 隋の皇帝の煬帝は、倭からの国書を好意的に受け取ったことがわかる。

問2 史料Aに書かれている時期に発展した文化に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 鞍作鳥が、北魏様式の法隆寺金堂釈迦三尊像を制作した。

Y 初めての勅撰漢詩文集として『凌雲集』が成立した。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問3 下線部㉑の時期に在位していた天皇によって推進された政策に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 氏姓制度の門閥世襲を打破することを目指し、冠位十二階を制定した。
- b 初めての本格的な都として藤原京を造営し、遷都を実行した。
- c 憲法十七条を制定して、豪族たちに国家の官僚としての自覚を求めた。
- d 豪族らを天皇中心の身分秩序に編成するため、八色の姓を定めた。

- ① a・c
- ② a・d
- ③ b・c
- ④ b・d

日本史 B

問 4 下線部㉔に関連して、この年に学問僧として隋にわたった人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

4

① 最 澄

② 玄 昉

③ 南淵請安

④ 山上憶良

B 9世紀以降、農民の **ア** や浮浪・逃亡の増大により **㉔** 戸籍・計帳に基づく支配体制は形骸化し、税の徴収が困難になった。これに危機感を抱いた朝廷は諸国の行政の統括者であった国司の権限を強化し、国家財政の維持をはかった。

㉔ 地方の政治を任された国司は、公田を **イ** という租税徴収の単位に編成し、有力農民に耕作を請け負わせる体制を構築した。**㉕** こうして徴税方式が変化するなか、国司は任国で巨利を得ることが可能となったため、その地位が利権視されるようになった。そのため、中・下級貴族は、人事権を掌握していた **㉖** 摂関家に取り入って、国司の職を得ようと努力するようになった。

問5 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **5**

- ① ア 越 訴 イ 保
- ② ア 越 訴 イ 名
- ③ ア 偽 籍 イ 保
- ④ ア 偽 籍 イ 名

問6 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **6**

X 天智天皇は、飛鳥浄御原令に基づいて庚寅年籍を作成した。

Y 計帳は、調・庸を徴収するための基本台帳で6年に1度作成された。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問 7 下線部㉔に関連して、地方の政治や経済振興に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

X この人物が、『意見封事十二箇条』を上奏して、醍醐天皇に地方政治の改革の必要性などを訴えた。

Y 平氏はこの港を修築して、宋船の入港を促し、日宋貿易を拡大させた。

a 三善清行 b 藤原元命 c 十三湊 d 大輪田泊

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 8 下線部㉔に関連して、10世紀から11世紀にかけての土地政策や徴税に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 902年に村上天皇は、違法な土地所有を禁じた延喜の荘園整理令を出し、律令体制の再建をはかった。
- ② 私財を出して寺社の造営などを請け負い、その代償に収入の多い官職に任じてもらう行為を遙任と呼んだ。
- ③ 公領では、かつての租・庸・調や公出挙の利稲に由来する税として、官物を課した。
- ④ 寄進地系荘園では、元の土地の所有者を本家、寄進を受けた荘園の領主を領家と呼んだ。

問9 下線部①に関連して、摂関家である藤原氏に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

9

- Ⅰ 藤原良房は、伴健岑や橘逸勢などの他氏族の勢力を排除した。
- Ⅱ 藤原時平は、ざんげん讒言によって右大臣であった菅原道真を左遷させた。
- Ⅲ 藤原基経は、宇多天皇が出した勅書に抗議して撤回させた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史 B

第2問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 12世紀後半、^a源平争乱や **ア** の飢饉などの天変地異が相次いで起こるなか、末法の世を実感した民衆は、そこからの脱却をもとめ精神的安楽をのぞむようになった。そのようななか、精神の救いを平易に説いた^b鎌倉新仏教が民衆の間に広く浸透していった。

新仏教のなかでも、特に禅宗は^c武士の支持を受けて広まった。鎌倉幕府において^d執権を務めた北条氏は、南宋から高僧を招聘するなど、鎌倉での禅宗の普及をはかっている。また、この時代には、律宗や **イ** などの旧仏教にも、戒律を重んじ、社会事業に力を尽くすなど、改革の動きが見られた。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① ア 延喜 イ 黄檗宗
- ② ア 延喜 イ 法相宗
- ③ ア 養和 イ 黄檗宗
- ④ ア 養和 イ 法相宗

問 2 下線部㉔に関連して、源平争乱の時期の出来事に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

- I 源頼朝が後白河法皇から、守護と地頭を任命する権利を得た。
- II 鎌倉に拠点置いていた頼朝が、征夷大將軍に任命された。
- III 源義仲が源範頼・義経らの軍に敗れ、近江の粟津で死亡した。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
- ④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

問 3 下線部㉕に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

- a 一遍は、煩惱の深い人間こそが、阿弥陀仏の救済の対象であるという悪人正機説を説いた。
- b 法然は、ひたすら念仏を唱えれば死後は極楽往生に往生できるという、専修念仏の教えを説いた。
- c 日蓮は、法華経を釈迦の唯一の正しい教えとし、題目を唱えることで救済されると説いた。
- d 道元は、京都に建仁寺を開いて臨済宗を広め、坐禅そのものを重視する教えを説いた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 B

問 4 下線部㉔に関連して、鎌倉時代の武士に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 先祖伝来の地に、武威を示すための豪壮・華麗な館を設けた。
- ② 宗家の首長を惣領と呼び、惣領が一門を統括して意思決定をした。
- ③ 分割相続を原則としていたが、女性は所領相続の対象とされなかった。
- ④ 笠懸などの馬上で刀を扱う訓練に励み、騎馬を用いた集団戦を主とした。

問 5 下線部㉕に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 北条義時は、霜月騒動により地位を固め、政所と侍所別当を兼任した。
- ② 北条泰時は、源頼朝以来の先例や道理をもとに御成敗式目を制定した。
- ③ 北条時宗は、蒙古襲来に備えて、異国警固番役を設けた。
- ④ 北条貞時は、御家人救済を目的に永仁の徳政令を発布した。

B 中世社会には、支配者の交代によって社会の様々な関係も改められるとする社会観念があり、この観念が大きく作用して、将軍の代替わりの際に、㉔惣村の結合をもとにした一揆によって、徳政を要求する動きなどが見られた。

㉕足利義教が6代将軍に就任する際には、酒屋・土倉など高利貸業者を襲撃した正長の徳政一揆が起こった。この一揆については、興福寺大乘院門跡の尋尊がまとめた『大乘院日記目録』において、「日本開關かいびやく以来、㉖蜂起こ是れ初めなり」と記されている。また、幼少であった足利義勝が7代将軍に就任する際には、嘉吉の徳政一揆が起こった。数万の群集が京都を占拠するなか、室町幕府は、初めて㉗を認める徳政令を發布した。

さらに、15世紀後半にかけて、世の中の秩序が乱れる一方で、㉘禅宗の影響を受けた文化が発展していった。

問6 空欄㉕ ㉖ ㉗ ㉘に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① ウ 土 民 ㉗ 債務の破棄
- ② ウ 土 民 ㉗ 営業の自由
- ③ ウ 国 人 ㉗ 債務の破棄
- ④ ウ 国 人 ㉗ 営業の自由

日本史 B

問 7 下線部㊸に関連して、次の史料の内容に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

16

史料

惣掟

定 今堀地下掟の事

合延徳元(1489)年十一月四日

- 一 惣より屋敷請(注1)候て、村人にて無物(者)置くべからざる事。
- 一 他所之人を地下に請人(注2)候わで、置くべからず候事。
- 一 惣の地と私の地と、さいめ(注3)相論は、金にてすますべし。
- 一 惣森(注4)にて青木は葉かきたる物(者)は、村人は村を落すべし(注5)。
村人にて無物(者)は地下をはらう(注6)べし。
- 一 家売たる代、かくしたる人をば、罰状をすべし。
- 一 堀より東をば、屋敷にすべからず者なり。

(『今堀日吉神社文書』)

- (注1) 屋敷請：屋敷を借りること。
- (注2) 請人：身元の保証人。
- (注3) さいめ：境界。
- (注4) 惣森：惣の森林。入会地。
- (注5) 村を落すべし：村人としての身分を奪う。
- (注6) 地下をはらう：村から追放する。

X 村人で身元保証人がいない場合は、よそ者を村内に住まわせてはならないとされていたことがわかる。

Y 惣村内の土地に関する紛争は、金銭での解決を禁じていたことがわかる。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問 8 下線部㉑に関して、この人物が将軍であったときに起きた出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 明に使者を派遣して国交を回復し、日明貿易を再開した。
- ② 朝鮮が対馬を倭寇の本拠地と考えて襲撃した応永の外寇が起きた。
- ③ 南朝の後亀山天皇が京都に戻り、南北朝の合体が実現した。
- ④ 京都の東山山荘に、2層からなる観音殿である銀閣を建てた。

日本史B

問9 下線部⑧に関連して、15世紀後半に描かれた次の絵画について、作者a・bと説明c・dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

18



作者

a 如拙

b 雪舟

説明

c この文人画の構図は、禪の公案を図示したものである。

d 秋・冬の2幅からなる山水画で、これは冬景である。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。

第3問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 江戸時代、幕藩体制のもとで各藩は時代の変化に応じて独自に改革を行っていった。㉑17世紀中頃、幕府政治の文治主義的傾向が強まるなか、いくつかの藩では、学問を好む藩主により文教政策が進められた。たとえば、岡山藩主 **ア** は、庶民教育を目的として閑谷学校を創設したほか、㉒陽明学者熊沢蕃山を登用して、儒教教育を重視した。

㉓田沼意次が実権を握っていた時代から寛政の改革が推進された時期にかけて、天変地異が続いたこともあり、幕藩体制維持にとって重要な本百姓体制が大きく動揺した。このようななか、財政が極度に悪化していた熊本藩では、藩主細川重賢により改革が実行された。検地を実施して隠田を摘発し、年貢の増収をはかったほか、楮の専売などを行い、㉔特産品の生産を奨励した。さらに、人材育成を重視して藩校 **イ** を設立し、優秀な者には身分を問わず門戸を開いた。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① ア 前田綱紀 イ 日新館
- ② ア 前田綱紀 イ 時習館
- ③ ア 池田光政 イ 日新館
- ④ ア 池田光政 イ 時習館

問2 下線部㉑の時期に起きた出来事として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 兵学者の由井正雪が、牢人らとともに幕府転覆を企てる事件が起きた。
- ② 後金が国号を改めた清が明を滅ぼして、新たな中国の王朝として成立した。
- ③ 赤穂藩主の浅野長矩が、吉良義央を江戸城中で斬りつける事件が起きた。
- ④ 江戸が振袖火事とも呼ばれる大火に見舞われ、市中の半分以上が焼失した。

問3 下線部㉒に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

- a 経世学の分野でも活躍した太宰春台に陽明学を学んだ。
- b 近江聖人といわれた中江藤樹に陽明学を学んだ。
- c 『大学或問』で武士土着論を主張して、幕政を批判した。
- d 『民間省要』で幕府の民政に対して批判的な意見を述べた。

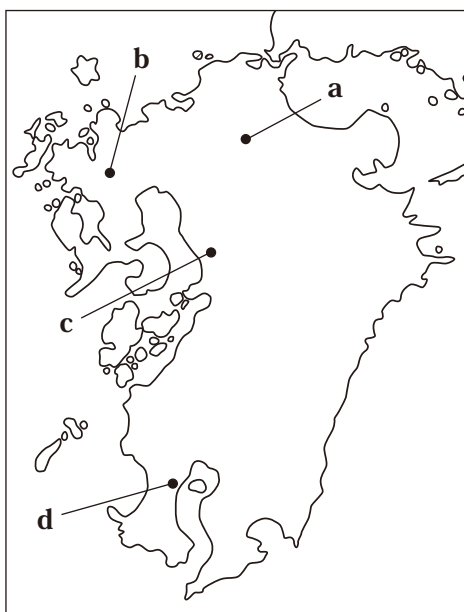
- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問4 下線部㉓に関連して、田沼意次の政策に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 飢饉に備えて、各地に社倉・義倉をつくらせて米穀を蓄えさせた。
- ② 最上徳内らを蝦夷地に派遣して、開発や貿易の可能性を調査させた。
- ③ 関東の農村に対し寄場組合を結成させ、農村秩序の維持をはかった。
- ④ 儉約令を出して庶民の風俗を厳しく取り締まり、為永春水らを処罰した。

日本史 B

問 5 下線部㉔に関連して、大名の鍋島氏が生産を奨励した陶磁器の名称と、その生産が発展した場所を示す次の地図上の位置 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23



- ① 常滑焼 — a
- ③ 常滑焼 — c

- ② 有田焼 — b
- ④ 有田焼 — d

B 江戸の人口は、18世紀前半には、町人約50万人に、㉔旗本・御家人や㉕参勤交代で江戸に居住した武士、寺社の人口を加えて、約100万人に達したと推定されている。江戸は、同時代の大都市であったパリやロンドンを超える巨大な都市に発展していった。18世紀中頃には江戸を「大江戸」と表現する文書も見られた。㉖政治と経済の中心となった江戸では、豊かな富を手に入れた大商人が出現し、また、粋やいなせを良しとする「江戸っ子」意識が醸成され、㉗文化・文政期には、江戸を中心とした町人文化が花開いていった。

問6 下線部㉔に関連して、江戸幕府の職制に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

X この役職は、旗本から選任され、大名の監察を任務とした。

Y この役職は、寺社奉行・町奉行とともに三奉行と呼ばれた。

a 大目付 b 目付 c 道中奉行 d 勘定奉行

① X — a Y — c ② X — a Y — d

③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

日本史 B

問 7 下線部㉑に関連して、大名は陸路や海路を用いて江戸に参勤していた。江戸時代の街道や海運に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 東海道には、箱根などに「入鉄砲に出女」を取り締まる関所が設置された。
- ② 街道の輸送のために、伝馬役という負担が宿駅の町人などに課された。
- ③ 17世紀後半、河村瑞賢が東廻り海運・西廻り海運を整備した。
- ④ 江戸と大坂を結ぶ南海路には、樽廻船と北前船が定期的に就航した。

問 8 下線部㉒に関連して、江戸に関係する幕府の経済政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 26

- Ⅰ 物価騰貴の原因であるとして、株仲間の解散を命じた。
- Ⅱ 江戸町会所を設置し、七分積金の制度を設けるなど、町費の節約を命じた。
- Ⅲ 生糸・水油などの5品は必ず江戸の間屋を経て輸出するように命じた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問9 下線部①に関連して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

- a 葛飾北斎は、『富嶽三十六景』などの浮世絵を制作した。
- b 曲亭馬琴は、滑稽本である『東海道中膝栗毛』を著した。
- c 都市には歌舞伎の劇場である芝居小屋が常設された。
- d 相撲の興行が定期的に行われ、開帳・富突などと呼ばれた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

第 4 問 次の文章 A・B を読み、下の問い (問 1～9) に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 政府と政党は[Ⓐ]日清戦争後、政党の党首が入閣するなど提携を進めた。しかし、1898 年に成立した第 3 次伊藤博文内閣は超然主義の立場をとり、戦後経営のための財源を確保しようと地租増徴案を[Ⓑ]帝国議会に提出した。この地租増徴案は自由党と進歩党がともに反対して否決された。その後、この二つの政党は合同して憲政党を結成し、第 3 次伊藤博文内閣の総辞職後、初の政党内閣が成立した。しかし、**ア** 文部大臣が共和演説事件によって辞任した後、憲政党は分裂し、内閣は短期間で崩壊した。

これまでの政党勢力の伸長に危機感を抱いていた山県有朋は、2 度目の内閣を組織すると、地租増徴案を成立させ、政党を抑圧する政策を推進していった。一方、政党政治の必要性を認識していた伊藤博文は、**イ** を結成し、1900 年には[Ⓒ]第 4 次伊藤博文内閣が成立した。

1901 年に第 4 次伊藤博文内閣が総辞職すると、これを機に山県有朋・伊藤博文らは第一線を退いて元老となり、桂太郎と西園寺公望が交互に内閣を組織する、[Ⓓ]桂園時代と呼ばれる時代を迎えた。

問 1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

- ① **ア** 尾崎行雄 **イ** 立憲政友会
- ② **ア** 尾崎行雄 **イ** 立憲帝政党
- ③ **ア** 森有礼 **イ** 立憲政友会
- ④ **ア** 森有礼 **イ** 立憲帝政党

問2 下線部②に関連して、次の史料は日清戦争の講和条約の一部である。この史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 29

史料

第一条 清国ハ朝鮮国ノ完全無欠ナル独立自主ノ国タルコトヲ確認ス。因テ右
 独立自主ヲ損害スヘキ朝鮮国ヨリ清国ニ対スル貢獻典礼等ハ将来^{まつた}全^{これ}ク之ヲ
 廃止スヘシ。

第二条 清国ハ左記ノ土地ノ主権^{ならび} 並^{がい}ニ該地方ニ在ル城^{じょう} 壘^{るい}、兵器製造所及官有
 物ヲ永遠日本国ニ割^{かつ}与^よス。

- 一 左ノ経界内ニ在ル奉天省南部ノ地(中略)
- 二 台湾全島及其ノ付属諸島嶼^{とうしよ}
- 三 澎湖列島(中略)

第四条 清国ハ軍費賠償金トシテ庫平銀二億^こ兩^{へいぎん}ヲ日本国ニ支払フヘキコトヲ
 約ス。

(『日本外交文書』)

X 朝鮮の宗主国を清国から日本に変更することと、日本への賠償金の支払い
 について明記されている。

Y 「奉天省南部ノ地」は遼東半島のことをさしており、台湾や澎湖列島とど
 もに日本の領土とするとした。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

日本史 B

問 3 下線部㉔に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 帝国議会は、対等の権限をもつ貴族院と衆議院からなっていた。
- ② 貴族院は、皇族と世襲による華族の議員のみで構成されていた。
- ③ 衆議院議員選挙法では、満25歳以上の男性で直接国税15円以上の納入者のみに選挙権が認められていた。
- ④ 帝国議会とは別に、天皇の諮問にこたえる機関として枢密院が設けられ、憲法によってその権限が明文化されていた。

問 4 下線部㉕に関連して、第4次伊藤博文内閣のときに起きた出来事に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

- X ドイツ人の技術指導を受け、日清戦争の賠償金の一部を運用して設立した、官営の工場が操業を開始した。
- Y 1901年に、日本で初めての社会主義政党として結成されたが、結成直後に解散を余儀なくされた。

a 富岡製糸場 b 八幡製鉄所 c 日本社会党 d 社会民主党

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問5 下線部④の時期に起きた出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

32

- Ⅰ ハーグ密使事件を契機に、韓国皇帝の高宗が退位に追い込まれた。
- Ⅱ 初めての労働者保護法として、工場法が公布された。
- Ⅲ 日本海海戦で、日本の連合艦隊がバルチック艦隊を破った。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史 B

B 1919年に、㉔第一次世界大戦の講和会議がパリで開かれ、ヴェルサイユ条約が調印されたことにより、ヨーロッパに新しい国際秩序が構築された。また、東アジアの国際情勢が変化するなかで、1921年には、太平洋および極東の問題などを審議するために、ワシントン会議が開催された。

この会議では、まず米・英・日・仏の間で四カ国条約が結ばれ、太平洋諸島の現状維持などが取り決められた。翌年にはこれに、中国と、中国に権益を有する国々が加わった九カ国条約が結ばれ、㉕中国の主権尊重や経済上の門戸開放・機会均等などが約束された。さらに、米・英・日・仏・伊の五大国の間でワシントン海軍軍縮条約も締結され、**ウ**の保有比率が定められた。

こうした国際的な軍縮の動きは戦争の再発防止を目的としていた。日本は欧米諸国に対しては **エ** 外交の方針をとり、1928年のパリ不戦条約、1930年の㉖ロンドン海軍軍縮条約などに続けて調印した。

問6 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **33**

- ① ウ 主力艦 エ 協 調
- ② ウ 主力艦 エ 強 硬
- ③ ウ 補助艦 エ 協 調
- ④ ウ 補助艦 エ 強 硬

問7 下線部㉔に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① アメリカ大統領ウィルソンの提案による国際連合の設立が決められた。
- ② 日本は、山東省の旧ドイツ権益の継承を求めたが、認められなかった。
- ③ ドイツは、本国の領土が割譲されない代わりに、多額の賠償金が課された。
- ④ 民族自決の世論が高まり、同年には五・四運動や三・一独立運動が起きた。

問8 下線部㉕に関連して、第一次世界大戦中に日本が中国に対して行った二十一カ条の要求に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

X 要求は袁世凱政府に対して行われ、中国政府の顧問に日本人の雇用を求めること以外の大部分を受け入れさせた。

Y 中国はパリ講和会議においてこの要求によって取り決められたことの撤回を求めたが、会議で拒否された。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

日本史 B

問 9 下線部㉔に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

- a 海軍軍令部長の反対をおしきって政府が兵力量を決定したのは、統帥権の干犯であるとの反発の声があがった。
- b 野党である立憲民政党の反対をおしきって政府が兵力量を決定したのは、議会制民主主義の軽視であるとの反発の声があがった。
- c 調印時に内閣を組織していた浜口雄幸は、その後、東京駅で右翼青年に襲われて重傷を負った。
- d 調印時に内閣を組織していた原敬は、その後、東京駅で青年に襲われて命を落とした。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2023年度一般入学試験前期日程(2月2日)【世界史B】

- 1)「ブランデンブルク門」 写真：アフロ
- 2)「ケルン大聖堂」 写真：アフロ

2023年度一般入学試験前期日程(2月2日)【日本史B】

- 1)「東京朝日新聞・1932年5月15日・号外」
朝日新聞社(承諾番号：23-1457)

※上記記事に関して朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。